

平成 30 年 3 月 27 日

徳島医療福祉専門学校  
校長 廣田 茂美 殿

徳島医療福祉専門学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 蒨 公一

## 学校関係者評価委員会報告

平成 29 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 蒨 公一 (勝浦町議会議員)
- ② 大西 徳生 (放送大学徳島学習センター所長)
- ③ 柳田 信次 (平成 29 年度保護者会役員)
- ④ 元木知恵子 (平成 29 年度保護者会役員)
- ⑤ 川村 健 (三溪同窓会会長)
- ⑥ 井関 博文 (徳島県理学療法士会理事)
- ⑦ 細川 友和 (徳島県作業療法士会副会長)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第 1 回委員会 平成 29 年 5 月 31 日 (会場 徳島医療福祉専門学校第 2 会議室)
- 第 2 回委員会 平成 30 年 3 月 14 日 (会場 徳島医療福祉専門学校体育館控室)

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり。

以上

別紙

I 平成 29 年度重点目標について

|   |
|---|
| <p>1 重点目標①：「設立の理念や教育目標を遵守した学校運営及び教育活動の展開を基軸に据え、更に安定した学校運営及び高質の教育の提供を図るべく必要な補正・改善に取り組む。」について</p> <p>学校運営及び教育提供の補正・改善に関する取組みについて、特に指摘すべき事項はありません。</p>   |
| <p>2 重点目標②：「運営方針及び中期計画の具現化を更に推進するとともに、将来的展望を見据えた計画的な運営によるより安定した学校運営に取り組む。」について</p> <p>学校運営方針及び中期計画の具現化の状況、現在の学校運営の取組みについて、特に指摘すべき事項はありません。</p>  |
| <p>3 重点目標③：「学校資産（土地・建物・設備）について、実態調査を実施し、現状の詳細な把握に努めるとともに、必要なものに対しては見直しや改善を図ることにより適正な維持管理に取り組む。」について</p> <p>学校資産の実態調査の実施状況、維持管理の状況について、特に指摘すべき事項はありません。但し、学生寮をはじめ利用者の多い施設については、学生のニーズを常に把握し、必要があれば速やかにその対応をお願いしたい。</p> |
| <p>4 重点目標④：「学校評価（自己評価・学校関係者評価等）の拡充と活用を促進するとともに、授業改善推進委員会を軸とした、授業等の改善を図り、教授力の更なる向上を図る。」について</p> <p>評価システムを工夫し、現場の先生方に過重な負担とならないよう配慮をお願いするとともに、今後の更なる教授力の向上に期待したい。</p>  |
| <p>5 重点目標⑤：「教育活動並びに学校運営に関する情報開示を促進かつ拡充し、更なる可視化を促進するとともに、本校の特長や魅力を積極的にアピールする。」について</p> <p>広報誌やオープンキャンパスでの訴求に様々な創意工夫が感じられる。今後とも学校の特長や魅力の積極的アピールに努められたい。</p>   |
| <p>6 重点目標⑥：「関係業界等との連携を更に強化し、業界ニーズ及び社会的ニーズに対応できる教育課程の編成を図るとともに、キャリア教育の拡充を更に促進する。」について</p> <p>教育課程の指定規則が近々に変更される見通しであるが、現在の水準を下げることはないよう継続的な努力をお願いしたい。</p>  |

|  |
|--|
| <p>7 重点目標⑦：「学則変更（表彰規定・懲戒規定・除籍規定など新規規定分を中心とした）を平成29年4月以降に実施するとともに、就業規則についても未整備部分を抽出し、明文化を図る。」について</p> <p>学園の諸規則、学校の諸規程の整備状況について、特に指摘すべき事項はありません。</p>  |
| <p>8 重点目標⑧：「進級率及び卒業率、国家試験合格率の更なる向上と、休・退学率の低減を図る取組みを強化するための教職員のスキルアップを目的とした研修を質・量ともに強化する。」について</p> <p>全国的に国家試験合格率が落ち込む中、休・退学者数の少なさも含めて、貴校の実績は大変素晴らしいと感じます。但し、少子化の影響もあり、今後は入学者が多様化していくことも予想されることから、学生一人一人に対して更にきめ細かな対応がなされることを期待したい。</p> |
| <p>9 重点目標⑨：「地域交流及び地域貢献の更なる促進を図るとともに、卒後教育プログラムを策定し、卒後研修等の計画的開催に向けた諸準備を実施する。」について</p> <p>学校単独での卒後研修等の開催には限界もあり、徳島県理学療法士会や徳島県作業療法士会、三溪同窓会との連携を更に強化して、効率的・相乗的な研修が開催されることを期待したい。</p>  |

## II 各評価項目について

|  |
|--|
| <p>1 教育理念・目的・人材育成像について</p> <p>教育理念・目的・人材育成像について、特に指摘すべき事項はありません。</p> |
| <p>2 学校運営について</p> <p>学校運営について、特に指摘すべき事項はありません。</p>                   |
| <p>3 教育活動について</p> <p>教育活動について、特に指摘すべき事項はありません。</p>                   |

#### 4 学修成果について

学修成果について、特に指摘すべき事項はありません。

#### 5 学生支援について

学生支援について、特に指摘すべき事項はありません。

#### 6 教育環境について

備品等の転倒防止に速やかに対応し、学習する環境の整備に努めてもらいたい。  
平成 32 年度には指定規則の抜本的な改正も予想されることから、この機会に関係業界からも注目されるような充実した備品整備を検討されたい。

#### 7 学生の募集と受入れについて

学生の募集と受入れについて、特に指摘すべき事項はありません。

#### 8 財務について

財務について、特に指摘すべき事項はありません。

#### 9 法令等の遵守について

法令等の遵守について、特に指摘すべき事項はありません。

## 10 社会貢献・地域貢献について

現状の社会貢献・地域貢献活動は、極めて充実しているものと思われ  
ます。活動の継続を期待します。